

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

MARCH

Vol. 9

2023.3



旧唐津銀行(唐津市指定重要文化財／佐賀県指定重要文化財)

Rotary



ガバナー
月信

2022-2023年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 上村 春甫

2022－2023年度 国際ロータリーのテーマ



イマジジン ロータリー

index

ガバナーメッセージ	2
国際青少年交換委員会報告	4
インターアクト後期指導者研修報告	5
ロータリー財団 補助金管理セミナー報告	6
寄稿 佐賀西RC 社会奉仕報告「ピザ作りを通じた食育活動」	7
2022年12月会員数・出席報告	8
新会員紹介	9
寄付者紹介	9
地区大会記念ゴルフ「エンドポリオ」撲滅チャリティー大会報告	10
肥前國の風景	裏表紙

表紙説明 | 旧唐津銀行(唐津市指定重要文化財/佐賀県指定重要文化財)

現在残る旧唐津銀行本店は、明治45年(1912年)に竣工しました。
建設には、頭取である大島小太郎とともに高橋是清から唐津藩英学校(耐恒寮)で教えを受けた辰野金吾の監督のもと、愛弟子である田中実が設計を担当しました。

表紙・本文帯 「月信」揮毫

牛島 征四郎
(佐賀RC)



「水と衛生」月間によせて



2022-2023年度 第2740地区 ガバナー 上村 春甫

水温む候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、各グループのインターシティ・ミーティング出席、緒方信行ガバナーエレクトの地区チーム研修セミナー出席、今年度第3回ガバナー会議出席等思いのほか忙しかった2月が終わり、まわりに目を向ける余裕が少し生じてきたなか、まさに水温む季節となってきたと感じているところです。

水温むといえば、今月はちょうど「水と衛生」月間ですので、それについて述べたいと思います。

「水と衛生」は、先月も述べましたが、「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」「環境保護」と並ぶ、国際ロータリーが世界の中で最も支援を必要とする人道的奉仕ニーズとして捉えている7つの重点分野のひとつです。

ロータリーは、「安全な水と衛生設備の利用

は、すべての人がもつべき権利である」という考え方のもと、たとえば、水を得るために毎日25kmを歩かねばならず、水運びをしなければならない子どもも大勢いるネパールの農村地域での500人分の水を貯蔵できるタンクの設置、同じくネパールのシティーマンガールというところにある学校の貯蔵タンク（12,000リットル）を活用するためのポンプとフィルターとの設置、700万人が水を原因とする疾病リスクにさらされているガーナでの水と衛生プロジェクトの実施、トイレのないフィリピンの農村地帯での多数のトイレの設置、大規模な鉱業の発展とともに、フッ化物含有物質によって土壌が汚染されたインドの地域社会での水浄化プラントの設置等々の活動を行ってきています。また、ロータリー財団は2013年から、100カ国余りで実施されている1,000件以上のWASHプロジェクトに投資しています。財団からの補助金やロータリークラブの募金活動で得た資金を元に、ロータリー会員が浄水、衛生教育、仮設トイレの建

設、廃棄物管理を支援しています。

世界の湿極と言われる日本（乾極はアラビア半島）、なかでも10分間降水量20mm以上の強雨回数で、南部九州に次ぎ、紀伊半島と並んで全国で2番目に多いという記録もある北部九州に住む身としては、水へのアクセスがおぼつかない環境というのはなかなか想像しがたいところ、ロータリーの「水と衛生」にかかる活

動をみると、改めて「水」の大切さが認識されます。

今後ともロータリーでの活動を通じて「すべての人が、安全な水と衛生設備とを利用できる」環境作りに貢献していくとともに、日頃の生活のなかでも「水」を大切にしていきたいと思っています。

ウクライナに「カイロ」を送りました！

極めて厳しい寒さの中、電気や暖房が使えないウクライナに第2740地区として皆さんの想いを込め、カイロを送ることができました。

ロータリーのネットワークで、塚崎寛直前ガバナーより情報提供をいただきまして早期支援へとつながりましたので、ご報告申し上げます。

- 発送期日：2022年1月18日
- 発送品目：使い捨てカイロ240枚入り箱×7箱（合計1,680枚）
- 配送先：POLTININ OLEH 様（ウクライナ国ドニプロシティRC会員）
- 配送手段：郵便局の国際スピード郵便（EMS）

2月に入って、地区から送りました「カイロ」がウクライナに到着したとの報告がありました。この「カイロ」は「ロータリークラブ ドニプロシティ」のメンバーにより、被災者等に配布して頂いているようです。



国際青少年交換委員会報告

国際青少年交換委員会 副委員長 下津浦 正明 (佐世保南RC)

◎2023.01 国際青少年交換委員会オリエンテーション

国際青少年交換委員会は、毎月最終の日曜日をオリエンテーション並びに委員会の開催日としております。本年最初の委員会、オリエンテーションは諫早サンプリエールにて開催致しました。

インバウンド学生5人の日本語のスピーチ、アウトバウンド学生4人の英語のスピーチ、其々の工夫を凝らした文章を英語、日本語で発表しました。アウトバウンドの日本の学生は相当な練習を積んでいるのが聞いて取れます。スピーチをきいていると、多分覚えてしまっているのでしょうか、発音はおざなりになってしまい早口で単語を並べているだけに聞こえてしまいます。比べて、インバウンドの学生は日本人の学生と違いのんびり、自分のスマホにローマ字でスピーチをうちこんで何処かに必ず笑ってもらおうという工夫をします。大した練習をしていないのはバレバレなのですがそのオチのつけ方はみんな上手に仕上げますから短いスピーチでも拍手を誘います。そんなスピーチの中から、ステイ先の暮らしや学校生活を垣間見ることができます。アウトバウンドの候補生は、今夏出発に備えて、この日に派遣先の決定を伝えられる予定でしたのでワクワクドキドキだったと思います。2023～2024年度の派遣先は、暫定的にアメリカ・カナダ地区のみになりました。西からワシントン州5050地区シアトルの対岸の島です。次にESSEX地区アメリカ北東部の多地区エリアです。もうひとつは、カナダカルガリー周辺の地区です。最後は、長崎市と姉妹都市セントポールの交換事業が今年から再開されることになり、セントポール市に派遣されます。まだ、出発は6ヶ月先ですが予防接種証明、公的証明健診と普段の生活が忙しくなりモチベーションがどんどん上がってきます。

委員会も交換のための相手地区との契約を交わす作業を進めています。



インターアクト後期指導者研修報告

インターアクト委員会 委員長 長戸 和光 (牛津RC)

令和5年2月4日、佐賀市のアバンセにおいて、インターアクト後期指導者研修を開催しました。指導者研修は、毎年前期と後期の2回地区インターアクト委員会で開催していましたが、過去2年度はコロナウイルス感染拡大のため開催できず、また本年度の前期の研修はZoomによるオンラインミーティングでの開催でしたので、3年ぶりに集合型（なお、一部Zoom参加の方もおりました）での開催となりました。

内容としては、上村春甫ガバナーにご挨拶頂いた後、まず第2700地区の広報・公共イメージ委員長の田村志朗様より、「インターアクトは世界を救う～広報のチカラでインターアクトを広げよう～」のテーマで基調講演を行って頂き、インターアクトの歴史や活動の意義、ローターアクトやRYLAなど、他の青少年事業の話など、参加者には改めてインターアクトの活動を見直す機会となる有意義なお話を頂戴しました。

また、その後は、徳川清隆第2740地区RYLA委員長より、本年度地区RYLA委員会が6月の開催を予定しているRYLA事業について詳細に説明をしてもらっています。

各学校行事等と重なるなどしており、数多くの高校に参加してもらうことはできませんでしたが、参加した方には新たな気づきのための機会を提供できた有意義な研修となりました。



ロータリー財団委員会報告

ロータリー財団委員会 委員長 岡村 康司（長崎南RC）

◎2740地区補助金管理セミナー報告

コロナの感染状況が酷くなった2020年2月に予定していた補助金管理セミナーは中止に追い込まれ、その後も2021年2022年と中止。しかし発生から3年が経ち、コロナをめぐる社会状況も前向きな対応が進んで感染状況も漸く落ち着き始めた今年、2023年2月5日（日）地区内54クラブ（102名）の次年度クラブ会長・幹事・他財団委員会関係者に佐賀の「ホテルマリターレ創世」まで集まっていただき、3時間の「補助金管理セミナー」を開催しました。

3回中止になった分今回のセミナーは内容が多岐にわたり、4名の講師の講演で過密なタイムスケジュールとなったため、本題の地区補助金申請については、財団委員会で作成した冊子を配布し要点のみを次年度の補助金委員長が解説するという事になった異例のセミナーは、13時30分上村春甫ガバナーの点鐘でスタートしました。

4名の講師と講演内容は以下の通りです。

先ず1人目は、グローバル補助金奨学生で長崎大学病院・感染制御教育センター副センター長の田代将人准教授。コロナ禍で誤った情報が氾濫する中、コロナの正体を最前線の医師によってこれまでの研究で明らかになったものをわかりやすく解説していただきました。

地域のリーダーであるロータリアンはまさに「目からウロコ!」、熱心に田代准教授の講演に集中していました。本当に「また聴きたい!」と思わせる素晴らしい30分の講演でした。

2人目と3人目は、佐賀ロータリークラブのメンバーでもある佐賀医科大学・香月武名誉教授とロコメディカル研究所・所長の江口有一朗医師（江口医師はビデオでの出演）にロータリー財団がグローバル補助金を使いモンゴルでの医療支援を続けていることを実際の医療現場のたくさんのスライドを見ていただくことでメンバーに知ってもらいました。

10分の休憩のあと、本題の地区補助金の申請について西川義文次年度補助金委員長に30分という大変短い時間で解説をしてもらいました。

4人目最後の講師は駒井英基パストガバナー（第3地域ARRFC・財団地域コーディネーター補佐）に「ポリオデーに関する企画について」。ロータリー財団の中にはポリオプラス委員会がありますが当地区だけが実質的な活動を行っていないことから短い10分という時間でメンバーに周知し、協力を得るための講演となりました。

最後の講評は緒方信行ガバナーエレクトの代理で村瀬高広次年度地区幹事（佐世保北RC）にパシッと締めていただき、本当に最高レベルに充実したセミナーでありました。

ご多忙の中講師を務めていただいた4名の先生方、また貴重な日曜日に出席いただいた54クラブのメンバーの方々ありがとうございました。



寄稿

社会奉仕報告「ピザ作りを通じた食育活動」

社会奉仕委員会 委員長 手塚 智司(佐賀西RC)

令和4年12月4日(日)、佐賀商工ビルの駐車場にて、佐賀市神野にある「ピッツェリア・ダ・ジーノ」の沖津健様とクラブ会員が所属する山代ガス様にご協力いただき、「ピザ作りを通じた食育活動」として児童養護施設の子供たちにキッチンカーでピザを作って食べてもらうとともに、山代ガス様のキャラクター「ヤマシロン」の食育ショーを実施するイベントを行いました。

参加してくれた養護施設の多数の子供たちが、各々ピザに好きなトッピングをし、出来立てのピザをおいしそうに食べている姿を見て、心が温まりました。

ピザを食べた後は、ヤマシロンによるバランスよい食事の重要性を学ぶショーを見てもらいました。プロのアクション俳優が行うショーは想像以上で、大人でも見応えのあるものでした。また、ショーの後、ヤマシロンと一緒に小さい子供が戦隊ヒーローのポーズを決めて記念撮影をしていた姿が印象的でした。

イベントを通じて、子供達の笑顔を見ることが出来て、幸せを感じるとともに、来年度もまたこのようなイベントを行えたらと思う一日でした。



米山奨学生のお子さんとクラブ会員の
子供たちも一緒に楽しみました

2022年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	72.8	74	6	77	7	0	0	0	3
	小城	3	51.6	29	4	29	4	0	0	0	0
	牛津	3	82.6	30	0	31	0	0	0	0	1
	多久	4	77.4	34	5	36	6	0	0	0	2
	佐賀大和	4	67.3	26	5	27	5	0	0	0	1
小計		70.3	193	20	200	22	0	0	0	7	
第2グループ	佐賀西	3	65.5	41	4	42	4	0	0	0	1
	佐賀北	3	68.0	44	3	44	3	0	0	0	0
	佐賀南	3	68.9	36	3	39	4	0	0	0	3
	神埼	3	76.8	35	4	38	4	0	0	0	3
	佐賀空港	3	84.3	17	0	17	0	0	0	0	0
小計		72.7	173	14	180	15	0	0	0	7	
第3グループ	有田	3	68.8	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	80.0	43	2	45	3	0	0	0	2
	鹿島	3	79.6	30	3	31	4	0	0	0	1
	嬉野	4	83.4	27	1	27	2	0	0	0	0
	大町	4	62.5	14	0	16	0	0	0	0	2
	太良	4	91.7	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		77.7	154	8	159	11	0	0	0	5
第4グループ	唐津	3	86.8	57	0	54	0	0	0	0	-3
	伊万里	4	85.5	31	0	31	0	0	0	0	0
	唐津東	4	77.2	48	0	49	0	0	0	0	1
	唐津西	3	90.1	28	0	27	0	0	0	0	-1
	伊万里西	4	97.0	36	1	39	2	0	1	-1	3
	唐津中央	4	76.3	35	5	35	5	0	0	0	0
小計		85.5	235	6	235	7	0	1	-1	0	
第5グループ	佐世保	3	80.6	74	0	73	0	0	1	-1	-1
	平戸	4	91.0	24	1	22	2	0	3	-3	-2
	北松浦	4	95.5	22	0	23	1	0	0	0	1
	佐世保西	3	81.7	22	3	22	3	0	0	0	0
	松浦	4	79.2	25	1	27	1	0	0	0	2
小計		85.6	167	5	167	7	0	4	-4	0	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	3	100.0	59	1	62	2	0	0	0	3
	佐世保東	4	79.0	24	0	23	0	0	0	0	-1
	佐世保北 (衛星クラブ)	4	100.0	50	4	54 (11)	5	0	0	0	4
	佐世保中央	4	86.1	48	1	52	2	0	0	0	4
	佐世保東南	3	66.0	34	1	32	0	0	2	-2	-2
	HTB佐世保	3	80.0	22	3	22	3	0	0	0	0
	小計		85.2	237	10	245	12	0	2	-2	8
第7グループ	大村	3	93.5	40	4	41	4	0	1	-1	1
	島原	4	86.6	29	2	29	2	0	0	0	0
	大村北	3	81.0	26	1	26	1	0	1	-1	0
	島原南	3	60.0	15	0	15	2	0	0	0	0
	大村東	3	85.7	34	4	37	4	0	0	0	3
小計		81.4	144	11	148	13	0	2	-2	4	
第8グループ	諫早	4	76.3	73	0	73	0	0	0	0	0
	諫早北	4	76.0	78	4	78	4	1	0	1	0
	諫早西	4	99.5	50	1	48	1	0	0	0	-2
	諫早多良見	4	91.1	28	0	29	1	0	0	0	1
	雲仙諫早南	2	69.1	18	6	20	6	0	1	-1	2
	小計		82.4	247	11	248	12	1	1	0	1
第9グループ	長崎	4	80.9	59	0	61	0	1	1	0	2
	福江	4	89.3	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎北東	3	73.2	38	2	39	2	1	0	1	1
	福江中央	3	95.8	16	1	17	1	0	0	0	1
	長崎西	3	69.9	35	0	35	1	0	1	-1	0
	長崎琴海	3	79.0	7	0	7	0	0	0	0	0
	小計		81.4	184	3	189	4	2	2	0	5
第10グループ	長崎北	3	73.5	73	0	75	0	0	0	0	2
	長崎南	3	78.7	70	0	68	0	0	2	-2	-2
	長崎東	4	72.1	37	1	37	1	0	0	0	0
	長崎みさと	3	82.5	28	0	29	1	0	0	0	1
	長崎中央	4	95.0	50	1	47	1	0	0	0	-3
	長崎出島	4	68.6	71	8	71	8	0	0	0	0
	小計		78.4	329	10	327	11	0	2	-2	-2
55クラブ合計		80.2	2,063	98	2,098	114	3	14	-11	35	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
2022年7月1日から2022年12月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方の
ご紹介は、次号に記載させていただきます



諫早北RC

平野 拓也 君
(株)平野工業所
代表取締役



長崎RC

山川 信彦 君
(株)十八親和銀行
取締役頭取



長崎北東RC

坂本 治 君
大瀬戸鉄工所
代表者

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



大村RC

中島 悟 君
享年71歳

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団			米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名	種類	氏名	クラブ名
マルチプル ポールハリスフェロー	山崎 唯之	神埼	米山功労者 メジャードナー	大神 邦明	佐世保
	西畑栄一郎	佐世保東		為永 伸夫	大村東
	中道 節也	諫早	米山功労者マルチプル	駒井 英基	佐賀南
	山崎 祥弘	諫早西		合瀬 一男	神埼
	濱本 浩邦	長崎		空閑 彰彦	神埼
	許斐 義彦	長崎西		山崎 唯之	神埼
	馬場 政徳	長崎西		森 長之	諫早
			千葉 憲哉	諫早北	
			米山功労クラブ		神埼
					有田
					諫早

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額

累計金額

180,693

2,012,652

地区大会記念ゴルフ 「エンドポリオ」撲滅チャリティー大会報告書

開催日：2022年11月27日（日）
開催場所：フジカントリークラブ
参加者人数：146名

佐賀北ロータリークラブ

今回の記念ゴルフ大会は、感染予防対策としてプレー終了後の表彰式は行わず、前半のスコアーにて順位を決める「ハーフコンペ方式」にての開催となりました。

天候にも恵まれ、参加者及び関係各位の皆様のご協力を頂き、無事に大会を終了する事が出来ました事に厚く御礼申し上げます。

又、当日「エンドポリオ撲滅チャリティー募金」をお願いしましたところ、快く多くの皆様よりの募金のご協力を頂きました。「ガバナー事務局」を通して寄付をさせて頂きました事を合わせてご報告致します。

寄付金額 131,921円



肥前國 の 風景

寒鶯亭

〔佐賀県多久市多久町〕

寒鶯亭は、多久町出身の炭鋤王、高取伊好が大正十四年に当時の多久村に公会堂として寄贈したものです。亭内の床の間には、高取翁の筆で「寒鶯待春」の書があり、寒鶯亭の由来になっています。



編集後記

ロータリー年度の後半では、地区内の委員会活動が活発に行われています。また、国際交流や地域貢献、さらには創立周年事業を開催されるクラブもあります。これら意義ある皆様の活動をより多くお知らせできるようにと、月信委員会では編集作業を進めています。これからも皆様方からの記事の寄稿をお待ちしています。(吉)

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒849-0913 佐賀市兵庫町大字淵4604-1
TEL 0952-37-3138 FAX 0952-37-3139
E-mail ri2740uemura@shunyoukai.jp
URL <https://rotary2740.jp/>



Webサイト ▶